

参加校

北海道釧路湖陵高等学校
青森県立青森高等学校
岩手県立盛岡第一高等学校
岩手県立一関第一高等学校
秋田県立角館高等学校
茨城県) 清真学園高等学校・中学校
栃木県立宇都宮高等学校
栃木県立宇都宮東高等学校
栃木県立佐野高等学校
私立作新学院高等学校
群馬県立前橋高等学校
埼玉県立浦和高等学校
埼玉県立伊奈学園総合高等学校
千葉県) 翔凜高等学校
東京都立日比谷高等学校
東京都立小石川中等教育学校
東京都立両国高等学校
筑波大学附属駒場高等学校
武蔵高等学校
豊島岡女子学園高等学校
富士見高等学校
獨協高等学校
神奈川県立湘南高等学校
神奈川県立横須賀高等学校
神奈川県立相模原高等学校
神奈川県立多摩高等学校
神奈川県立柏陽高等学校
栄光学園高等学校
聖光学院高等学校
浅野学園高等学校
洗足学園中学高等学校
湘南白百合学園高等学校
富山国際大学付属高等学校
石川県立金沢泉丘高等学校

福井県立藤島高等学校
長野県長野高等学校
長野県松本深志高等学校
長野県松本県ヶ丘高等学校
岐阜県立岐阜高等学校
静岡県立静岡高等学校
三重県立四日市高等学校
京都市立堀川高等学校
京都市立日吉ヶ丘高等学校
京都府立嵯峨野高等学校
大阪府立北野高等学校
関西大倉高等学校
神戸市立葺合高等学校
神戸大学附属中等教育学校
奈良県立奈良高等学校
奈良県立郡山高等学校
和歌山県立向陽高等学校
鳥取県立鳥取西高等学校
山口県立山口高等学校
徳島県立城ノ内高等学校
香川県立高松高等学校
福岡県立城南高等学校
福岡県立香住丘高等学校
佐賀県) 弘学館高等学校
熊本県立熊本高等学校
熊本県立第二高等学校
熊本県立八代高等学校
鹿児島県立甲南高等学校
鹿児島県立大島高等学校
沖縄県立球陽高等学校

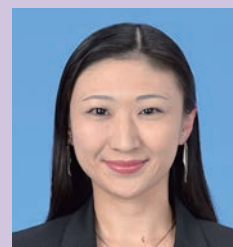
補欠1 埼玉県立浦和第一女子高等学校
補欠2 兵庫県) 雲雀丘学園高等学校

合計66校

キーノートスピーカー



合田 哲雄氏
文部科学省
科学技術・学術総括官



川越 至桜氏
東京大学
生産技術研究所
次世代育成オフィス
大学院情報学環 准教授



井上 裕紀氏
国際協力機構 (JICA)
ウガンダ事務所

http://www.pdpda.org 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 公立大学法人大阪 大阪府立大学 工学研究科 中川研究室内
Tel:072-254-9220 Fax:072-254-9904 E-mail:contact@pdpda.org



文部科学省後援 第6回 PDA高校生 即興型英語ディベート 全国大会

The 6th PDA High School Parliamentary Debate
National Competition

2020年12月19日(土)・20日(日)

—会場—
オンライン開催 (Zoom)

【主催】一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

【共催】東京大学生産技術研究所、
公立大学法人大阪 大阪府立大学

【後援】文部科学省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、
全国高等学校長協会、
一般社団法人日本英語交流連盟、
一般社団法人 日本高校生パーラメンタリーディベート連盟

【協賛】東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス (ONG)

【助成】公益財団法人 日本財団、
公益財団法人 KDDI財団



ごあいさつ

東京大学生産技術研究所 所長・教授

第6回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会が盛大に開催されますことを共催団体として大変嬉しく思います。人生は長く、多くの経験を重ねることで人は成長していきます。その過程では、成功体験も失敗体験も重要で、苦い経験から学べることも多いです。本大会に意欲的に取り組まれている皆さんのチャレンジは、きっと皆さんを大いに成長させることでしょう。“ends and means”、目的と手段。何れも大事ですが、目的を達成するための手段です。今は、英語ディベート力の向上を目的として研鑽を積み、将来、培った論理的思考力・英語力・人間力を発揮して、それぞれの目標に向かって皆さんが社会で大いに活躍されることを祈念いたします。



東京大学生産技術研究所 所長・教授
岸 利治(きし としはる)

PDA代表理事

文部科学省後援 第6回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会へのご参加、ご見学をありがとうございます。当初、東京大学での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインでの開催となりました。PDAでの体験会や地域交流大会、合宿、教員研修会などもオンラインで実施し、運営事務局、教員、生徒も少しずつオンライン環境に慣れてきたところかと思えます。その中で、即興型英語ディベートは主に言語活動であり、オンラインとも親和性が高いことも分かってきました。特に、本大会で取り扱う即興型英語ディベートは、議論がかみ合いやすいようコミュニケーション場の制度設計を工学的にも考察し、授業導入可能な形式に標準化しています。新科目「論理・表現」をはじめとする次期学習指導要領に沿った実用的な形式であり、文部科学省助成事業や教育委員会での教員研修にも取り入れられています。

さて、本全国大会の特徴は、競技を超えた**「社会で役立つ教養のディベート」**をコンセプトとして実施している点です。ディベート自体を目的とした大会という枠組みを超えて、ディベートを様々なスキルを効果的に鍛える手段として位置づけ、その力を社会に還元できる人財育成を目標とした大会です。アカデミックな視点からの理解・協力として、共催に東京大学生産技術研究所、大阪府立大学の賛同のほか、学校教育現場から、全国高等学校長協会のご理解をいただいています。大会では、第1回より一貫してキーノートスピーチを設けています。社会の第一線で活躍されている産業界、官公庁、教育・研究機関の専門家を招き、大会で扱われた論題をテーマに解説をいただき、学習できるようにしています。論題については、ニュースで取り扱われる重要な社会問題や未来を描くために考察が必要なテーマなど、実際に社会で活躍しているキーノートスピーカーに十分評価いただけるものを準備しています。大会においては、もちろん勝ち負けはありますが、それ以上に、上述のように真に目指すべき力を育成できるよう教育的配慮を伴った趣旨が伝わりましたら幸いです。

世の中では、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、他者に想いを馳せて議論していくことが重要なスキルとなります。本大会を通して、勝ち負け以上に、社会で役立つ力を伸ばし、成長されることを祈念しています。

最後に、本大会開催にあたりご協力いただきました関係各位に心より感謝申し上げます。



一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA) 代表理事
中川 智皓(なかがわ ちひろ)
大阪府立大学
工学研究科機械工学分野 准教授
東京大学生産技術研究所 協力研究員
国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)
戦略的創造研究推進事業
さきがけ研究員(兼任)



タイムスケジュール

12月19日(土)

- 10:30 受付
- 11:00 開会式、対戦表発表
- 11:20 ジャッジブリーフィング
- 11:30 R1論題発表、準備
- 11:45 R1ラウンド実践
- 12:05 R1ジャッジ
- 12:30 昼休み
- 13:30 R2論題発表、準備
- 13:45 R2ラウンド実践
- 14:05 R2ジャッジ
- 14:35 レクチャー
- 15:10 R3論題発表、準備
- 15:25 R3ラウンド実践
- 15:45 R3ジャッジ
- 16:30 R4論題発表、準備
- 16:45 R4ラウンド実践
- 17:05 R4ジャッジ(クローズ)
- 17:15 まとめ
- 17:30 終了

12月20日(日)

- 9:30 受付
- 10:00 準々決勝進出チーム、ジャッジの発表
- 10:30 準々決勝論題発表、準備
キーノートレクチャー①
- 10:45 準々決勝ラウンド実践
- 11:10 昼休み
- 12:10 準決勝進出チームの発表
- 12:15 準決勝論題発表、準備
キーノートレクチャー②
- 12:30 準決勝ラウンド実践
- 12:50 休憩
- 13:15 決勝進出チームの発表
- 13:20 決勝論題発表、準備
キーノートレクチャー③
- 13:35 決勝ラウンド実践
3位決定ラウンド実践
- 14:00 休憩
- 14:15 表彰式
- 15:15 終了

文部科学省・外務省後援 第6回PDA高校生パラメンタリーディベート世界交流大会

優勝・準優勝・第3位、授業導入優秀校の合計約6校に、2021年1月開催の第6回PDA高校生パラメンタリーディベート世界交流大会への出場権を進呈します。

[日程] 2021年1月23日(土)・1月24日(日)

[場所] オンライン開催(Zoom)

[参加国] 海外より12か国、日本より6チーム程度